

エコアクション21 環境経営レポート

令和5年度(2023年度)
(令和5年4月～令和6年3月)

作成 令和6年7月30日

環境宣言整備工場

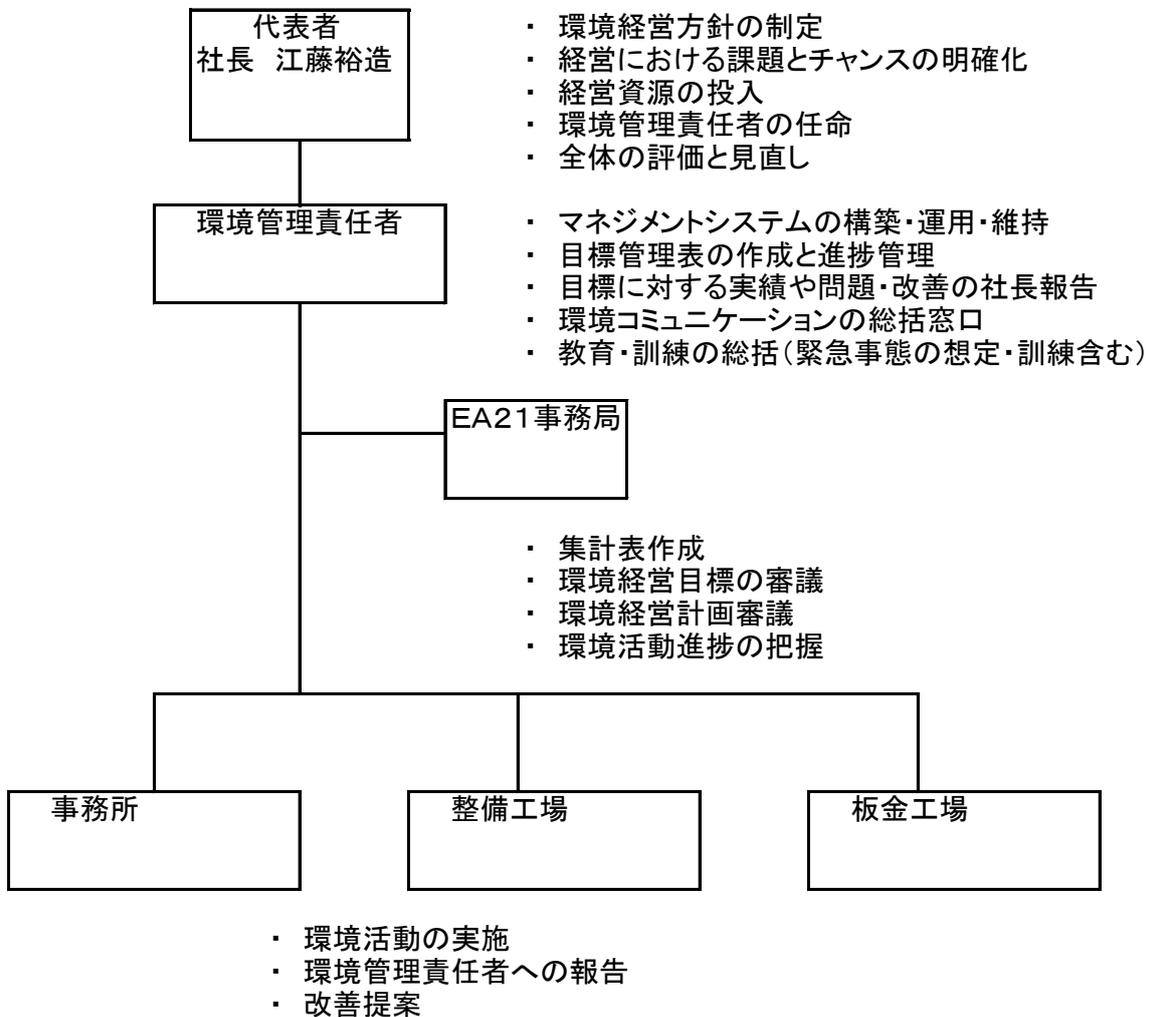
有限会社 江藤モーター

事業の概要

- (1) 事業者名
有限会社 江藤モーター
代表取締役 江藤裕造
- (2) 所在地 本社・整備工場・板金工場、駐車場
〒 879-2457
津久見市志手町1-18
- (3) 環境保全関係の担当者連絡先
環境管理責任者
担当者
連絡先 TEL 0972-82-5248
FAX 0972-82-5240
- (4) 事業規模
資本金 500万円
社員数 8人
- (5) 事業内容
自動車の整備 販売 損害保険代理店業務
- (6) 認証登録範囲
全組織、全事業活動

EA21推進体制

2023年度



環境経営方針

環境経営理念

近年環境問題が叫ばれる中、弊社は自動車整備に携わる事業者として環境汚染物質の削減に取り組み、環境負荷低減及び資源の有効活用に努めます。

環境経営方針

弊社は、環境経営理念に基づき、今後避けて通れない二酸化炭素排出量の削減や地球資源の無駄使いを減らし、企業活動の全般で地域環境の保全に最大限の配慮をして取り組みます。

重点推進事項

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・電気 軽油等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - ・顧客への啓発を図り、代車で使用するガソリン、軽油使用量の削減に努めます。
- (2) 廃棄物の削減
 - ・自動車整備業務に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用に努めます。
 - ・自動車リサイクル法に従い適切なりサイクルに努めます。
- (3) 総排水量の削減
 - ・自動車の洗車時や水道使用時の水量を削減し、総排水量の削減に努めます。
- (4) 化学物質の削減
 - ・自動車整備業務に使用するシンナーなどの化学物質を適切に取り扱う事により、無駄使いを防止します。
- (5) グリーン購入
 - ・循環型社会に貢献するために中古パーツ、リビルトパーツの使用を推進します。
- (6) お客様の車両整備におけるエコ整備 エコ車検の推進
 - ・エコ整備 エコ車検の実施を行い燃費改善に向けて啓蒙ツールを使用し、有用性についての説明技術やエコ整備技術の向上に努め整備入庫を促進します。
- (7) 環境関連法規制の遵守
 - ・環境関連法規制等を遵守します。

私たちは、この環境経営方針を全社員で共有し、地域との共生を図り、環境経営システムの継続的改善に努めていきます。

更新 平成30年4月1日
有限会社 江藤モーター
代表取締役 江藤 裕造

環境負荷の実績推移

番号	項目	単位	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)
1-1	二酸化炭素排出量	kg-CO2	11,716	11,670	11,310	10,759
1-2	電気使用量	kWh	10,572	10,696	9,908	10,130
1-3	ガソリン使用量	L	2,290	2,415	2,280	2,166
1-3	軽油使用量	L	1,060	913	1,001	860
2	水使用量	m ³	227	189	145	162
3	化学物質 (シンナー)	L	56	48	16	32
4	廃油	L	1,400	1,700	2,250	2,950
	汚泥	m ³	2	1	2	1

注記

- 次ページで設定した環境経営目標は、環境負荷使用状況を考慮して定性的な目標を多く設定している。ただし、環境負荷の変化も見えていく必要があるため、新たに環境負荷の表を記載することにした。環境負荷の状況と環境経営目標を勘案し評価していく。
- 電気の二酸化炭素排出係数は2018年度調整後排出係数0.347kg-CO₂/kWhを使用した。

$$\text{二酸化炭素排出量} = \text{電気} \times 0.347 + \text{ガソリン} \times 2.32 + \text{軽油} \times 2.58$$

環境経営目標

		基準年度	環境経営目標		
		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)
番号	項目	実績	環境経営目標	環境経営目標	環境経営目標
1-1	二酸化炭素排出量	11,716 kg-CO2	基準年度比△1% 11,599	基準年度比△2% 11,482	基準年度比△3% 11,365
1-2	電気使用量の削減	10,572 kwh	基準年度比△1% 10,466	基準年度比△2% 10,361	基準年度比△3% 10,255
1-3	ガソリン使用量の削減	2,290 ℓ		基準年度比△2% 2,244	基準年度比△3% 2,221
	顧客との連携	活動推進	顧客への呼びかけ推進 指標：環境経営計画の実施管理 エコドライブ情報の提供促進		
1-3	軽油使用量の削減	1,060 ℓ		基準年度比△2% 1,039	基準年度比△3% 1,028
	顧客との連携	活動推進	①顧客への呼びかけ推進 指標：エコドライブ情報の提供 ②エコドライブの徹底 指標：社員の環境経営計画実施管理		
2	廃棄物の リサイクル推進	廃油の再資源化 100%維持	①分別活動推進 指標：活動の実施状況判定 ②廃油の再資源化100%維持 指標：異物混入の防止		
3	水使用量の削減	227 m ³	基準年度比△1% 225	基準年度比△2% 222	基準年度比△3% 220
4	化学物質の削減	漏洩や使用ミス を減少して無駄 遣いをなくす	作業従事者の教育訓練の実施 適切な管理 指標：工場内の整理整頓、数量管理徹底		
5	グリーン購入	中古品、再生部 品の使用促進	使用促進 指標：活動の実施状況判定		
6	事業上の環境配慮	顧客啓発実施	顧客啓発実施 指標：環境活動の実施率		

(注記)

1. 電気の二酸化炭素排出係数は、九州電力2018年度調整後排出係数0.347kg-CO₂/kWhを使用した。
2. 削減目標対象の二酸化炭素排出量は、2022年度より電気使用量および燃料を対象とした。
3. ガソリン、軽油はほぼ全量が、代車燃料として顧客が使用するため、顧客との連携を確実にを行うことを管理とした。実績を確認しながら、二酸化炭素排出量全体の削減に努める。
4. グリーン購入は、当社の重要な取組なので、継続して目標化して取組む。

環境経営目標

(令和6年度～8年度)

		基準年度	環境経営目標		
		2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)
番号	項目	実績	環境経営目標	環境経営目標	環境経営目標
1-1	二酸化炭素排出量	10,795 kg-CO2	基準年度比△1% 10,687	基準年度比△2% 10,579	基準年度比△3% 10,471
1-2	電気使用量の削減	10,130 kwh	基準年度比△1% 10,029	基準年度比△2% 9,927	基準年度比△3% 9,826
1-3	ガソリン使用量の削減	2,166 ℓ	基準年度比△1% 2,144	基準年度比△2% 2,123	基準年度比△3% 2,101
	顧客との連携	活動推進	顧客への呼びかけ推進 指標：環境経営計画の実施管理 エコドライブ情報の提供促進		
1-3	軽油使用量の削減	860 ℓ	基準年度比△1% 851	基準年度比△2% 843	基準年度比△3% 834
	顧客との連携	活動推進	①顧客への呼びかけ推進 指標：エコドライブ情報の提供 ②エコドライブの徹底 指標：社員の環境経営計画実施管理		
2	廃棄物の リサイクル推進	廃油の再資源化 100%維持	①分別活動推進 指標：活動の実施状況判定 ②廃油の再資源化100%維持 指標：異物混入の防止		
3	水使用量の削減	162 m ³	基準年度比△1% 160	基準年度比△2% 159	基準年度比△3% 157
4	化学物質の削減	漏洩や使用ミス を減少して無駄 遣いをなくす	作業従事者の教育訓練の実施 適切な管理 指標：工場内の整理整頓、数量管理徹底		
5	グリーン購入	中古品、再生部 品の使用促進	使用促進 指標：活動の実施状況判定		
6	事業上の環境配慮	顧客啓発実施	顧客啓発実施 指標：環境活動の実施率		

(注記)

- 電気の二酸化炭素排出係数は、九州電力2018年度調整後排出係数0.347kg-CO2/kWhを使用した。
- 削減目標対象の二酸化炭素排出量は、2022年度より電気使用量および燃料を対象とした。
- ガソリン、軽油はほぼ全量が、代車燃料として顧客が使用するため、顧客との連携を確実にを行うことを管理とした。実績を確認しながら、二酸化炭素排出量全体の削減に努める。
- グリーン購入は、当社の重要な取組なので、継続して目標化して取組む。

環境経営計画(2023年度)

活動経過の評価記録

判定基準 ○:できた △:改善余地あり ×:できなかった

項目	具体的な活動	頻度	営業・事務所	整備・板金工場
1. 二酸化炭素排出量の削減 1-1. 電気使用量の削減	①不要な照明の消灯（工場：不使用時）	毎日	○	○
	②OA機器, 空調機の退社時の電源オフ	毎日	○	—
	③換気しながら室温の適正管理	毎日	○	—
	④空調機フィルターの定期的清掃	年4回	○	—
	⑤日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（夏季）	毎日	○	—
1-2 ガソリン使用量の削減	①呼びかけに適する代車内掲示	適時	○	○
	②呼びかけに適する配布資料の入手及び作成 顧客への情報提供（顧客とともに環境配慮）	適時	○	○
	③顧客への呼びかけの実施	適時	○	○
	①②③1-2ガソリン使用量削減活動に同じ	適時	○	○
1-3. 軽油使用量の削減	④社用車エコドライブの推進・徹底 （アイドリングストップ、経済運転、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	○	○
	⑤整備車両の引き取り・納車の合理的運行	毎日	○	○
	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○
2. 廃棄物のリサイクル 化と廃棄物排出量の削減	②リサイクル促進	毎月	○	○
	③適切な業者の選定と引渡	適時	—	○
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	—	○
	①洗車の水使用削減（無駄な水を使用しない）	毎日	—	○
3. 水使用量の削減	②節水の工夫と実施 （適量の給湯、出しっ放し防止など）	毎日	○	○
	①法規制の遵守	毎日	—	○
4. 化学物質の削減	②整理・整頓の推進	毎日	—	○
	③化学物質の適切な管理	毎日	—	○
	①中古品、再生品の把握（業者、インターネット）	毎日	○	○
5. グリーン購入	②中古品、再生品のルート確保	毎日	○	○
	③顧客への中古品、再生品使用の啓発、使用促進 （環境経営レポート等の利用）	毎日	○	○
	①適切な点検・整備や車検のメリットの顧客への説明	適時	○	○
6. 事業上の環境配慮 顧客の車からのCO2削減	②説明用チラシ作成・配布、啓発	適時	○	○
	③顧客へのエコドライブの呼びかけ （チラシ配布、車内掲示）	適時	○	○

判定基準 ○:できた △:改善余地あり ×:できなかった

2023年度に実施した主な取組みと次年度の活動方針
 自動車整備に関わる事業者として、顧客と共に省エネ、省資源、リサイクルの促進に努めてきた。
 5S活動により職場の整理整頓、作業効率やサービス向上に努め、法令遵守管理やオイル漏洩の緊急事態への備え、周辺清掃、地域の交通事故防止、通学時の安全歩行に配慮した。
 2024年度も、熱中症対策、感染症予防に留意しながら、暮らし安全と省エネ、省資源、環境保全に努める。

環境経営計画(2024年度)

対象: ●

項目	具体的な活動	頻度	営業・事務所	整備・板金工場
1. 二酸化炭素排出量の削減 1-1. 電気使用量の削減	①不要な照明の消灯（工場：不使用時）	毎日	●	●
	②O A 機器, 空調機の退社時の電源オフを確認する	毎日	●	—
	③換気しながら室温の適正管理（健康管理優先）	毎日	●	—
	④空調機フィルターの定期的清掃	年4回	●	—
	⑤日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（夏季）	毎日	●	—
1-2 ガソリン使用量の削減	①呼びかけに必要な事項を代車内に掲示	適時	●	●
	②呼びかけに適する配布資料の入手及び作成 顧客への情報提供（顧客とともに環境配慮）	適時	●	●
	③顧客への呼びかけの実施（声掛け）	適時	●	●
	④社用車エコドライブの推進・徹底 （アイドリングストップ、経済運転、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	●	●
1-3. 軽油使用量の削減	①②③1-2ガソリン使用量削減活動に同じ	適時	●	●
	⑤整備車両の引き取り・納車の合理的運行	毎日	●	●
	④社用車エコドライブの推進・徹底 （アイドリングストップ、経済運転、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	●	●
2. 廃棄物のリサイクル 化と廃棄物排出量の削減	①廃棄物の分別促進	毎日	●	●
	②リサイクル促進	毎月	●	●
	③適切な業者の選定と引渡	適時	—	●
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	—	●
3. 水使用量の削減	①洗車の水使用削減（無駄な水を使用しない）	毎日	—	●
	②節水の工夫と実施 （適量の給湯、出しっ放し防止など）	毎日	●	●
4. 化学物質の削減	①法規制の遵守	毎日	—	●
	②整理・整頓の推進	毎日	—	●
	③化学物質の適切な管理	毎日	—	●
5. グリーン購入	①中古品、再生品の把握（業者、インターネット）	毎日	●	●
	②中古品、再生品のルート確保	毎日	●	●
	③顧客への中古品、再生品使用の啓発、使用促進 （環境経営レポート等の利用）	毎日	●	●
6. 事業上の環境配慮 顧客の車からの CO2削減	①適切な点検・整備や車検のメリットの顧客への説明	適時	●	●
	②説明用チラシ作成・配布、啓発	適時	●	●
	③顧客へのエコドライブの呼びかけ （チラシ配布、車内掲示）	適時	●	●

5. 環境経営目標の実績、評価と次年度の取組内容

項目	目標値	実績	達成度	判定	評価及び次年度の取組み内容
C02排出量 (kg-C02)	11,365	10,759	106%	○	C02排出量の削減目標は、クリアできた。 (燃料効率利用への顧客協力と節電努力が実りC02総排出量は目標達成できた)
電気使用量 (kWh)	10,255	10,130	101%	○	電気は、換気と室温管理の徹底で、目標を達成できた。
ガソリン使用量 (ℓ)	2,221	2,166	103%	○	価格高騰が続いているが、数値目標はクリアできた。
	顧客との連携	顧客との連携が しっかりできた	100%	○	顧客への呼びかけは、接客の中で常に継続しており、定着してきた。 社員のエコドライブは、習慣化できているが、更に工夫していく。
軽油使用量 (ℓ)	1,028	860	120%	○	お客様への協力依頼が功を奏して、数値目標を達成した。
	顧客との連携	顧客との連携が しっかりできた	100%	○	代車燃料が主であり、数値の管理は難しい面もあるが、整備による効率改善、エコドライブ徹底により、ガソリンを含めた燃料全体の効率利用を継続していく。
廃棄物の リサイクル	分別活動推進	分別活動推進	100%	○	廃棄物置場の整理と清掃は全員で継続しています。 引続き、分別徹底により再資源化を推進していきます。 廃油は、100%リサイクルを維持できました。 分別活動と併せて、今後はその他の廃棄物も可能な限りのリサイクルを進めていきます。
	廃油の再資源化 100%維持	廃油の再資源化 100%維持	100%	○	
水使用量	220	162	136%	○	数量目標は達成できた。 整備後の洗車台数により使用量が増減するので、顧客の理解をいただきながら、次年度も水の効率利用に努めます。
化学物質	教育訓練の実施 適切な管理	教育訓練の実施 適切な管理	100%	○	塗装工場で使用使用するシンナー類を管理対象としています。 SDSを常備し、作業者に内容を周知させています。 次年度も数値把握と適切な管理を継続していきます。
グリーン購入 (中古品、再生部品)	中古品、再生部 品の使用促進	中古品、再生部 品の使用促進	100%	○	中古部品、再生部品の使用促進は積極的に取り組んできました。 循環型社会の推進に、本業分野で寄与していきます。 次年度もリサイクル部品の積極的な使用を推進していきます。
事業上の環境配慮	顧客啓発実施 実施100%	顧客啓発実施 実施100%	100%	○	環境に優しい整備をすることが当社の使命と受け止め、顧客に対してもエコ整備、エコ車 検を推奨してきました。また、社会全体の二酸化炭素排出抑制につなげるよう、エコドラ イブを心掛けるようお客様に呼びかけてきた。 社員一同、環境配慮を行動に移すことの重要性を認識して、全社員がお客様に積極的な声 かけができるよう、研鑽を重ねて努めます。

(注記) 1. 電気のC02排出係数は2018年度九州電力調整後排出係数0.347kg-C02/kWhを使用する。

2. 二酸化炭素総排出量は、電気、ガソリン、軽油の使用量を反映した。

3. 目標達成度の判定基準

○：90%以上 △：80%以上90%未満⇒予防書対象 ×；80%未満⇒是正処置対象

環境法規制登録表(遵守評価表)

最終更新日: 令和6年7月1日

作成者: 小島健一

承認者: 江藤裕造

遵守評価日: 令和6年7月1日

法規制等	適用内容	対象設備、施設	遵守事項 (法規制/自主規制)	頻度等	実施部門	遵守評価	コメント
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管 ・廃油 ・汚泥 ・廃プラ(廃タイヤ)	産業廃棄物置場	(法規制) 1.表示板の設置	設置時	工場	○	
			(自主規制) 1.清掃、漏洩防止	1回/週(確認)	工場	○	
	委託契約書	委託業者	(法規制) 1.委託契約書(書面)	契約時	事務所	○	
	マニフェスト伝票管理	委託業者	(法規制) 1.マニフェストの発行、管理 2.各票の受領確認	処理委託時 発行後	事務所 事務所	○ ○	
	マニフェスト発行状況の報告	産廃排出事業者	(法規制) 1.マニフェスト発行状況のまとめ 2.報告書の記載(第3号様式) 3.大分県(保健所、廃棄物対策課)への報告	毎年4月~6月 同上 同上	事務所 事務所 事務所	○ ○ ○	
	業務用の自動車から取り外した 廃タイヤの処理	タイヤ販売店	(法規制) 1.商慣行の遵守 2.タイヤ販売店で産業廃棄物として処理 (注記)タイヤ販売店の処理状況を確認する。	タイヤ交換時 同上	事務所 事務所	○ ○	廃棄物処理業者への委託を確認した。
消防法	危険物の適切な管理 (指定数量の遵守)	オイル類 第4類第4石油類	(法規制) 指定数量: 6000ℓ(貯蔵庫の届出必要) 上記の1/5以下の保管(届出必要なし)	保管時	工場	○	指定数量の1/5以下
水質汚濁防止法	排水管理	工場排水	(法規制) 1. 一般水域への機械油等排水発生時に 保健所、警察等必要機関への報告 2. 協議、指導に基づく対応	異常排水発生時	工場	○	該当なし
				異常排水発生時	工場	○	該当なし
浄化槽法	浄化槽の設置、管理	浄化槽	1. 浄化槽設置届、使用開始届 2. 定期清掃、点検の実施	毎年2月	事務所	○	
有機則 (有機溶剤中毒予防規則)	作業者の健康管理	塗装工程	1. 有機溶剤作業主任者の選任 2. 注意事項の掲示	通常 通常	工場 工場	○ ○	
家電リサイクル法 リサイクル法	テレビ、(小型)エアコン使用 パソコン、(周辺機器)使用	テレビ、 家庭用エアコン パソコン類	(法規制) 1.リサイクル料支払い(発生時のみ) 2.廃棄時の適正処置(発生時のみ)	支払い時 廃棄時	事務所 事務所	○ ○	該当なし 該当なし
自動車リサイクル法	車両の適切な廃棄	自社所有車	(法規制) 1.リサイクル料支払い(発生時のみ) 2.廃棄時の適正処置(発生時のみ) 3.フロン回収処理委託(発生時のみ)	支払い時 廃棄時 廃棄時	事務所 事務所 事務所	○ ○ ○	該当なし 該当なし 該当なし

(評価)遵守評価の結果、環境法規違反はありません。関係当局からの指摘・指導や訴訟もありません。

代表者による全体の評価と見直し記録

1. 全体の評価 報告：小島健一

No.	評価事項	評価結果(指摘事項)	改善内容・今後の取組	期限	改善責任者
1	環境関連法規等の順守状況	遵守できている。 特に問題はなし	今後も遵守に努める。	通期	全員
2	環境経営目標の達成度 環境経営計画の実施状況等の確認	①数値目標は、すべてクリアすることができた。 電力は、換気と室温管理を丁寧に行った。 燃料は、顧客の協力が定着してきた。 ②評価としては、全体的に「○」判定である。 ③環境経営計画の取組みは、順調である。	引き続き積極的に環境活動に取り組 み、環境経営目標の達成に努め る。 目標達成の評価基準を見直し、更 なるレベルアップをめざす。	通期	全員
3	環境に関する苦情や要望対応状 況	苦情・要望などは発生していない。	継続していく。	—	—
4	前回の代表者の指示事項への対 応	お客様の協力を得ながら、環境経営目標達成に向けて 効果的に取組むことができた。	継続していく。	—	—
5	実施体制	良く各階層で実施している。特に問題はない。	継続していく。	—	—

2. 全体の評価と見直し

実施日：R6.7.1

代表取締役 江藤裕造

全体の評価

アドバンスクラブからのお誘いを受けたのを機に、平成24年3月エコアクション21の認証を取得し、全社で活動を継続してきた。全社員の参加により、自主的、継続的改善に務めた結果、環境経営目標はすべて達成（行動評価は○が主）することができた。また、関係法令の遵守、緊急事態への備えなど、経営効率向上、リスク軽減もしっかり対応することができた。次年度からは、新たな環境経営目標にチャレンジする。コロナやインフルエンザなどの感染症の予防のため換気に留意しながら、室温管理に努めている。電力、燃料ともに、顧客サービスの質を維持しながら、効率使用を社員、お客様とともに継続し、省エネ、省資源に努めるとともにコスト意識を高めている。事務所、工場ともにLED照明への更新が終わっており、日常業務の中での効率管理の徹底など、更に工夫を重ねていく。また、所有車両の整備、点検の強化、エコドライブ啓発により燃料節約を追求する。今後とも、全員参加により環境改善活動に取り組んでいく。

見直し事項

No.	環境マネジメントシステムの見直し事項	見直し結果	改善内容	期限	改善責任者
1	環境経営方針、環境経営目標、 環境経営計画の変更の必要性	全体としては、大きな問題もなく順調に推移している。 2024年度からの中期目標を策定する。	2023年度実績を基準とする中期 目標を新たに作成する。	2024年 7月中	—
2	環境経営システムの変更の必要 性	2022年度からは、燃料も数値目標対象としている。 活動も定着しており、見直しの必要性なしと判断する。	維持する	—	—
3	実施体制	変更の必要性なしと判断する。	維持する	—	—